

# みんなで守ろう岐阜市の自然

岐阜市自然ふれあい地域ビジョン策定ワークショップ 第16号 平成18年4月発行

## はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。このような状況の中、現在ある岐阜市の貴重な自然環境を、次世代に残し伝えることが、私たちの役割です。

そのための第一歩として「**岐阜市自然ふれあい地域ビジョン**」策定に取り組みます！！



## 春の達目洞保全活動（4月15日開催）

- ・春雨で迎える達目洞の保全活動！！
- ・水を導くための水路を確保！！
- ・今年度からは稲作に挑戦！！

## 春雨で迎える達目洞の保全活動！！

毎月第3土曜日に行っている達目洞の保全活動も、4月15日（土）から今年度の活動をスタートしました。今年度最初の活動日はあいにくの雨でしたが、それにもかかわらずたくさんの方が集まりました。

各所で春の訪れを見かけることができるようになったのですが、達目洞のヒメコウホネはまだ一輪が水の中でひっそりと咲いているだけでした。そのような中、今回の活動ではヒメコウホネの自生する水路周辺の除草作業と、達目洞の湿地化した休耕田に注ぎ込む水路の泥上げ、水田の畦づくりを行いました。



子どもから大人まで  
多くの人で保全活動をすすめました。

## 水を導くための水路を確保！！

達目洞は金華山を水源とする湧水によって湿地が維持されています。そのため、流入する水を管理することは、ヒメコウホネ自生地周辺の湿地環境を維持するために、非常に重要となってきます。

そこで、今回は流れ込んでくる水が滞水しているだけの休耕田に水路を確保して、導きたい方向に水が流れるように、整備を行いました。10人が1時間余り泥だらけになって作業を行い、やっと水路ができました。畦を作って水路を確保する作業も一苦労です。



流れ込む土砂によって埋まってしまった水路から土をあげていきました。

## 今年度からは稲作に挑戦！！



水路から土をあげて畦を作り、山から流れる水を導くことができるようになりました。

水路を確保した周辺の枯草等も集め、除去作業を行いました。



昨年度から検討していた休耕田対策として、今年度からは稲作に取り組んでいきます。稲作は初挑戦で上手くいくか分かりませんが、達目洞の里山環境を維持するためには非常に意義深い試みです。



**稲作に挑戦します！**

## おわりに

達目洞でも、稲作をはじめとした新しい試みによる環境保全活動が始まりました。稲作という昔ながらの営みが、里山の生態系にいかに関わってきたのか考えるためにもよい機会だと思います。今後、様々な作業が増えていくことが予想されます。皆さんの協力をお待ちしております。



達目洞は非常に土が緩いため、トラクターで耕していると、埋まってしまうことがあります。このように機械が使いにくいことも休耕田を増やす要因になっています。

## 自然ふれあい地域ビジョンに関する問い合わせ

岐阜市 人・自然共生部 みどり自然室 担当：吉村

TEL：058-265-4141 FAX：058-267-1374

E-mail：midori@city.gifu.gifu.jp

みどり自然室 HP アドレス：http://www.city.gifu.gifu.jp/splash/midori/index.html